



スムーズBiz Smooth Biz

スムーズBiz推進大賞で大賞を受賞

東京 2020 大会はもとより、将来を見据えた取り組みが評価

キューピー株式会社

キューピーは、東京都が推進する「スムーズBiz※」の実践を通じて、「スムーズBiz推進大賞」の大賞を受賞しました。東京 2020 大会はもとより、将来的な物流効率化も見据えた配送計画の見直しを実施した点や、交通システムマネジメントの実施に合わせ、渋滞を想定した物流テストを実施したことが評価されました。

※ 東京都は、東京 2020 大会期間中の交通混雑緩和も見据え、交通量の抑制や分散に向けた交通需要マネジメント(TDM)やテレワーク、時差Bizなどの取り組みを「スムーズBiz」として一体的に推進しています。

表彰の対象となったのは、スムーズBiz推進期間(7/22~9/6)に行った「物流面」と「人流面」の取り組みです。

物流面では、「無駄のない配送の構築」を目指し、①混雑・規制の回避、②翌々日納品、③簡易な検品レス、を推進しました。具体的には、区間によって納品時間を早める・遅らせることにより配送への影響を食い止めたほか(①)、卸の協力のもと、前々日までに発注をもらうことで配送車両の効率化を図り、確実なお届けを実現しました(②)。また、出荷情報を事前に発送先へ送ることで、検品作業・荷受け業務の省力化とドライバーの負担軽減、車両の混雑緩和を試みました(③)。

人流面では、東京 2020 年大会の成功に貢献すべく準備委員会を設立し、「各職場で問題なく事業が継続できること」を目指し、“働く時間と場所”に柔軟性を持たせた働き方に取り組みました。対象の従業員 2,200 名のうち具体的な活用人数は、サテライトオフィス勤務が 1,563 名、在宅勤務が 582 名、フレックスタイム制が 1,415 名、有給取得は 312 名でした(すべて延べ人数)。大会本番を見据えた働き方を試したことで、一人ひとりが最も効率的な働き方を考えるきっかけになりました。

キューピーは、スムーズBiz推進をきっかけに、今後も物流面での課題解決と柔軟な働き方への取り組みを継続的に進めていきます。



写真①:キューピー上席執行役員ロジスティクス本部長 藤田正美(左)、ロジスティクス本部推進統括部 岩田真一(右)/写真②:大賞受賞記念の盾